

校友会福島支部だより 第一号

発行 芝浦工業大学 校友会福島支部

事務局 喜多方市山都町中石打場3263

アドレス yamato.watanabe@nifty.ne.jp

相互の存在を確認し、交流継続を期待

会報「福島支部だより」第一号を発刊するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

福島支部は、一九九六年八月に設立され、四半世紀活動して参りました。

私が支部長になり、間もなく四年目を迎えますが、在籍会員数の減少を見るたびに、月日の流れを感じます。コロナに振り回されながらも、リモートによる幹事会や交流会を続けて参りました。そんな制約がある中、支部活動の限界を感じ、支部活動も「打つ手なし、休眠状態か！」と思った矢先、「会報」を出しては？という意見がでました。発案者は2代目支部長（故佐川様）時代に存在していた「支部だより」を思い出したそうです。

福島支部存在の意義は、「会員相互の親睦を深め、情報交換ができる場を提供していく。」というところにあると思います

皆様の知恵とアドバイスによりこの「支部だより」更には、「福島支部」を育てて頂きますようお願いいたします。多くの皆様方のご協力に感謝致します。

校友会福島支部 樋口正人

会員の皆様の「今日このごろ」をご紹介するコーナーです。第一回目は会員渡邊さんの「今日このごろ」。

角館・横手、週末日和を静かさ満喫



映画「たそがれ清兵衛」ロケ地



横手市増田地区のミセ

日増しに秋も深まるなか、秋田の観光地角館と横手市増田地区を訪れた。角館は、三十数年、増田は四年前に訪れているからどちらも再訪になる。

二つの街並みともに、住民の努力のおかげで伝統的な街並みが昔のまま。校友会福島支部事務局の私が所属する別の某団体の研修は、今年は秋田。その某団体の全国大会に参加。大会翌日に訪れた角館と横手市増田地区では、秋の行楽シーズンではあるが、観光客はまばらだった。夕暮れの中、ふと感じた映画のシーンでタイムスリップに近い感覚を覚えたのは私だけか。

いつか校友会福島支部の皆さんとで、コロナウィルスが収束して自由に旅行ができるようになったら、福島支部で皆さんと訪問したい。

交流活動グループからの願い

会員の方で、日頃の生活をご紹介します。写真も添えていただけると助かります。どうぞよろしく。

母校からの情報

田町より豊洲へ移転



新しい豊洲キャンパス棟

建築家坂茂氏設計のカフェレストラン

芝浦工業大学は昨年八月二十一日にオープンキャンパスを開催し、九月一日に芝浦キャンパスから豊洲キャンパスへ移転しました。九月二十日には地域・大学関係者やメディアの方々を招待しお披露目を開催しました。

豊洲キャンパス本部一階には建築家坂茂氏設計の特徴的なデザインのカフェとレストランが翌九月二十一日にオープンしました。



再び箱根駅伝出場、5区を9位相当の区間記録

昨年の予選会で過去最高の二十位を記録した駅伝部、今年一月二日（三日の第九十九回箱根駅伝大会では橋本章央選手（環境システム学科3年）が関東学生連合メンバーとして往路五区に出場、二人を抜く

力走をみせてくれました。

ダットサン16型の寄贈を受ける

卒業生である全日本ダットサン会

会長である佐々木徳次郎氏より

寄贈を受け昨年九月二十一日より

豊洲キャンパス本部一階で

一般公開しています。

わが町の芝浦OB卒業を訪ねて

『校友会福島支部だより』を発行するに当たり、第一回目の登場は初代支部長の「平川憲甫ひらかわのりよし」さん。先輩が送った学生生活、その後のお仕事、福島支部を設立当時のお話を聞きました。



平川憲甫さん



詳しくは



詳しくは



箱根5区を力走する橋本選手

座談会の記事が取り上げられていますね。

私は、ハンドボールを高校時代からやっていて、大学からスカウトされました。広報「芝浦」の記事に出ている田口さんと塩川さんは同級生です。特に田口さんは近くに住んでいる友人です。大阪で就職し福島に転勤になってからは、当時としては珍しく東北初の実業団女子ハンドボール部を創設し初代監督として、メンバーを率いました。その後は、仕事の都合で田口さんに（当時他社に勤めていた）監督をお願いしました。

（懐かしさのあまり田口さんに電話してくれました）

芝浦工大のハンドボール部は当時、大変強いチームで、各種の大会で四七連勝しました。

記事にあります長野県の浅間温泉の合宿は大変厳しく、朝食前の走り込みを見ていた宿のおばちゃん、毎日「がんばれーがんばれー」と涙を流しながら応援してくれたことが思い出されます。腰椎を痛めてからは「校友会」の体育委員長を務め、ある時は、野球部の応援団を派遣するため、学生の選択科目の時間組み替えを大学側と交渉を進めたり、忙しかったです。あの当時は大学全体で部活動を応援していて、現在大学で力を入れている箱根駅伝のようでした。毎年楽しみに見えます。

（初代支部長に就任した頃のことを聞かしてください。）

私が福島勤務になり暫くして、大学総務課からの要請で校友会支部を作ることになりました。それはゼロからの準備でしたから大変でした。だけど色々な方の協力により平成八年の第一回支部総会にこぎつけました。

（福島支部では現在、若い会員を増やそうと頑張っていますが、支部にアドバイスをお願いします。）

自分の息子と話して気づいたのですが、昔を知らない彼らに何かを訴えたいのであれば、若い人達のことを知る努力をし、何を考え感じているかを知るアプローチをしなければと思います。

（インタビューを終えて）

平川先輩の人生には常にハンドボールがあり、そこで培った「人間力」「行動力」等により多くの困難に立ち向かってこられたように感じました。平川先輩ありがとうございました。

芝浦びと 川柳コーナー

会員の方からの投稿された作品を載せます。

豊洲校舎

田町まで 乗り換え無しが 今豊洲

大宮校舎

大宮校 かつて農地が いま団地

箱根駅伝

駅伝で 選抜三度 名を揚げる

山の神 わが頭上には 髪はなし

短歌部門

その昔 われの通いし 学び舎は

「愛と誠」の 花園実業

この芝浦だよりでは会員の皆様の投稿を募集中です。

編集後記

リアルな会議もできませんでした二年間。その間に大先輩の齋藤前支部長、岩本副支部長が逝去され、寂しいばかりです。さて、コロナ禍で皆様との交流も途絶えこの「芝浦だより」で会員の心の支えになる事を願っています。ご意見などを事務局へお聞かせください。